

1 前提

該当する地域	平坦地～中山間
設定した経営規模	ミニトマト（半促成）12a、ミニトマト（抑制）15a、ホウレンソウ(秋冬2作) 12a、スイカ（ハウス）15a、水稲30a
自家労働	2人
その他	鳥取型低コストハウスは補助事業活用（1／2補助）

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
各年次				△	◎	—	□	□	□	□	□	□	□

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、∩トンネル、—栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A)×R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B)÷(C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A)-(D)×(E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (f)×(G)×利率
作業場・格納庫	木造	50 m <sup>2</sup>	3,300,000	14	471,428	471,428	15	31,429	8	220,000	100	8,800
鳥取型低コストハウス	6m×50m	9 棟	9,828,000	22	2,184,000	2,184,000	10	218,400	5	1,092,000	20	8,736
トラクタ	25ps, 4WD	1 台	3,067,900	13	383,488	383,488	7	54,784	4	164,352	20	1,315
ロータリ	160cm	1 台	440,000	13	55,000	55,000	7	7,857	4	23,572	20	189
灌水装置	2.2ps	1 式	185,850	22	41,300	41,300	7	5,900	4	17,700	100	708
管理機	3.7ps	1 台	248,600	22	55,244	55,244	7	7,892	4	23,676	100	947
動力噴霧機	6ps可搬式	1 台	280,390	22	62,309	62,309	7	8,901	4	26,704	100	1,068
運搬車クローラ式	4.2PS	1 台	361,900	22	80,422	80,422	7	11,489	4	34,467	100	1,379
軽トラック	660cc, 4WD	1 台	1,200,000	11	133,200	133,200	4	33,300	2	66,600	100	2,664
合計			18,912,640		3,466,391	3,466,391		379,952		1,669,070		25,805

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
ミニトマト	サンチェリーピュア	半促成	6,000 kg	水田転換畑	12a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a 当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
元 肥 散 布	1/下	堆肥 がいの有機 ミネパワーS セルカフレンド ネマトリンエース粒剤	1t 40kg 10kg 50kg 15kg	人力			2	3.0	
耕 転・畦 作 り	2/上			人力 トラクタ ロータリ 管理機		1.0 1.0	1 1	2.0 2.0	軽油 4.5 ガソリン 1.0
灌 水	2/上	灌水チューブ	500m	灌水装置	○マルチを張る前にしっかりと灌水する		1	4.0	
マルチ張り	2/上	グリーンマルチ	332m	人力			2	5.5	
定 植	3/上	苗	825本	人力	○苗は購入。 ○6.0mハウスに4条植、株間80cm。		2	10.0	
保温管理	3/上～3/中	カーテンサンホット		人力	○定植後、低温時には内トンネルを設置		2	15.0	
支 柱 立 て	3/中	支柱 エスター線 サンライン	430本 2巻 1.1巻	人力	○定植後に支柱を立てる。 ○エスター線を60cm間隔で3本、間にサン ラインを20cm間隔で5本張る。		1	8.0	
交 配 (マルハナバ チ)	4/上～5/上 4/中～6/下	トマトーン 逸出防止ネット  クロマルハナバチ	200ml  3箱	肩掛噴霧器 人力	○第1～3花房に散布する。 ○巣箱を入れる前に、必ず逸出防止ネッ トを 設置する。 ○第3花房開花以降、巣箱が高温になら ないよう設置する。 ○かん水は毎日、数回に分けて行い、天 候 や土の乾き具合によって回数を減らす		1 2	4.0 4.0	
灌 水	2/下～8/中			灌水装置		28.0	1	28.0	ガソリン 28.0
誘引及び整枝  (ハウス管理等)	3/中～7/上	エコタイ 結束タイ	1巻 1.8個	人力	○主茎の第一花房直下の脇芽を伸ばして 2 本仕立てとする。 ○葉数を確保しながら他の脇芽は除去 ○斜め45度に誘引し芯が支柱の先端にき た ら花房から2葉残して摘心する		2	328.5	
追 肥	4/上～6/中	バイオノ有機  OKスペシャルR	60kg  20kg	人力 灌水装置	○バイオノ有機を3, 7, 9, 11段開花時に通 路 に施用 ○灌水時に、OKスペシャルRを4, 5, 6, 7花 房 開花時に草勢及び着果量にあわせて1 回		1	1.8	
遮 光 処 理	7/中～9/上	遮光ネット	165m	人力	○梅雨明け後～8月中旬頃まで高温対策 と して遮光ネットをかける。		2	4.0	
合 計									

技術体系（続き）

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準				燃 料 消費量 (ℓ/10a)	
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			
						機械利 用時間	組 人員		延労働 時 間
病虫害防除	4/上～7/上	ラノーテープ チェス顆粒水和剤 ウララDF モスピラン水和剤 ニマイパー水和剤 ジーファイン水和剤 マッチ乳剤 トリフミン水和剤 グレーシア乳剤 バルコート水和剤 カンタスDF トップジンM水和剤 コロマイト乳剤	660m 40g 100cc 150g 200g 560g 200cc 70g 75g 50g 150cc 166cc 100cc	動力噴霧機	○葉かび病、斑点病、灰色かび病、軟腐病の防除。 ○アブラムシ類、ハモグリバエ類、オタバコガ、コナジラミ類、トマトサビダニの防除。	16.0	2	32.0	ガソリン 32.0
取 穫 後片付け	5/下～8/下 9/中～9/下	出荷コンテナ	25個	軽トラック	○完熟果を収穫して選果場に搬入。 ○栽培終了後、株を抜き取り、圃場外へ持ち出す	33.0	2	577.5	ガソリン 6.6
				軽トラック		2.0	2	48.0	ガソリン 1.0
				トラクタ ロータリ		1.0	1		軽油 4.5
合 計									1,079.3

5 経営試算(10aあたり)

区分	科目	金額	説明	
粗収益	主産物価額③	3,264,000	生産量① : 6,000 kg 単価② : 544 円/kg	
	主産物価額	0	生産量 :	
	主産物価額	0	生産量 :	
	副産物価額④	0		
	計 (A)	3,264,000		
生産	種 苗 費	136,950		
	肥 料 費	44,949	使用資材等は技術体系のとおり	
	農 薬 費	84,426	"	
	諸 材 料 費	237,911	"	
	動力光熱費	16,814		
	農 具 費	27,657	機械負担価額×4%	
	建物等修繕費	42,529	建物・構築物負担価額×1%	
	賃 料 料 金	0		
	共 済 掛 金	6,311		
	雇 用 労 賃	18,937		
	減価償却費⑤	316,626	別表のとおり	
	土地改良費	1,075		
	支払地代⑥	0		
	小計 (B)	934,185		
	費	販売費一般	出荷資材費	443,220
管理費		販 売 諸 費	785,112	
		諸税負担金	4,952	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	6,723	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	17,066	借入資本利率2%
		小計 (C)	1,257,073	
経 営 費 (D)	2,191,258	注) (D) = (B) + (C)		
家族労働費見積額 ⑧	1,411,020	農 従 労 働 時 間 : 1,058.7 生産管理労働時間 26.7 1,300 円/時間		
支払利子・地代算入生産費(E)	3,602,278	主産物単位当たり 600 円/kg 注 (E) = (D) +⑧-④		
自己資本	流動資本利子⑨	65,372	注) ⑨= ((E)-⑤-⑦) / 2 × 0.04	
利子(F)	固定資本利子	21,504	利率4%	
自 作 地 地 代 (G)	3,150			
全算入生産費 (H)	3,692,304	生産物単位当たり 615 円/kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)		
所 得 (I)	1,072,742	時間当たり 988 円 注) (I) = (A) - (D)		
所 得 率 (J)	33	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100		
農企業利潤 (K)	-428,304	注) (K) =③- (H)		
家族労働報酬 (L)	982,716	時間当たり 905 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)		
農業資本利潤 (M)	-338,278	注) (M) = (I) -⑧		

